

# 令和4年度 武生商工高等学校スクール・ポリシー

## スクール・ミッション【使命】

工業と商業の統合による相乗効果を発揮し、特色ある教育活動を実践する。生活の基礎となる一般教養と基礎学力、仕事に役立つ専門的な知識と技術、協働するために必要なコミュニケーション力を身に付けさせるとともに、ビジネスの心がわかるエンジニア・ものづくりの心がわかるビジネスパーソンを育成する。

## 校訓

創造 実践 共栄

## 教育目標

主体的に学び、様々な課題を解決していくことのできる、豊かな創造力を持った生徒を育成する。  
産業活動に関する知識と技能を身につけ、地域社会に貢献できる生徒を育成する。  
豊かな心と健やかなからだを持ち、融和協調しながら共栄をめざす生徒を育成する。

## グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

- ・地域の要請にこたえるため、専門教科の充実した学習により、基礎的知識・技能を向上する。また、系統的な学習によって、様々な資格・検定等の取得に挑戦する。
- ・普通教科を適切に配置し、基礎的な学力を高め、社会人基礎力を身につける。
- ・それぞれの能力・適性にあわせて選択科目を適切に学習し、多様な進路選択ができるようになる。
- ・地域との関わりを広く学習機会としてとらえ、「課題研究」を中心に地元とともに課題に取り組む姿勢を身に付けて、ふるさとに貢献できる人材となる。

## カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

### ※主な特徴を記入すること

### 【地域と連携した実践教育】【高度な資格取得】【キャリア教育】

武生商工高校には、学校内に工業・商業の2つの専門学科があり、地域の企業や大学などと連携した実践的教育やそれぞれの分野における高度な資格取得の推進など、職業教育カリキュラムを充実し、地域の未来を託せる人材＝地域の財産となる「心ある人財」を育成している。

工業に関する学科では、充実した設備を使用し、最先端の技術や自動制御の仕組みなど生産工程全体を管理するシステムを学習するなど専門的・実践的な工業教育を展開している。

商業に関する学科では、地域の産業・観光を幅広く学習し、市場調査や販売戦略を学ぶなど、地域とのかかわりを重視した専門的・実践的な商業教育を展開している。

### カリキュラムの特長

○「総合的な探究の時間」や「課題研究」での商工連携を行い、相互の学校の強み(ビジネスとものづくり)を活かした「商工高校ならではの課題研究」、「地域と連携した課題研究」、「地域を盛り上げる課題研究」に取り組み、商工高校の特色の柱としている。

○工業系学科生に「簿記(商業系科目)」、商業系学科生に「製図(工業系科目)」の選択科目を設定している。また、地域の課題に対応するため、選択科目で「ポルトガル語」を設定している。

○進学希望者の選択科目を複数設定し、大学入試にも対応している。